

聴覚障害者が語る日常生活と移動

～交通機関利用時におけるあるべき姿(支援・配慮)と現状のギャップについて～

「聴覚障害」といっても一人ひとりの聞こえ方によって、情報の受け取り方は多様にあることが知られていないため、聴覚障害者が必要な情報をスムーズに得られない日常があります。

そこで今回の勉強会では、3名の当事者講師より、聞こえ方の多様性と環境によるコミュニケーションの方法の内容をテーマに開催します。公共交通機関における情報保障の課題整理、平時・緊急時の情報保障の環境的見直し、日常の接遇などの場面でのスムーズなコミュニケーションを行うためのヒントとなることを目的とします。

開催日時 2022年11月7日(月)13:30～15:45 (予定)

(関交研YouTubeチャンネルにてLive配信)

申込方法 ※裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込期限 2022年10月31日(月)17:00まで

視聴方法 お申込頂いた方には、2022年11月2日(水)までに視聴用URLを電子メールでお送りします。(※配信設定の関係から、視聴用URLの配信日が遅れる場合があります。)

情報保障 手話通訳、要約筆記が当日の配信時、画面内に表示されます。

プログラム(講演時間 135分)

開会挨拶	13:30(5分)	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
導入・課題提起	13:35(10分)	多様な「聞こえ方」の整理、個々への対応の必要性について 渡部 安世氏(特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長)
講演①	13:45(20分)	「聴覚障害者の日常生活」について(手話言語者の場合) 志方 龍氏(宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長)
講演②	14:05(20分)	「難聴、中途失聴者の立場から」 渡部 安世氏(特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長)
講演③	14:25(20分)	「聴導犬とともに生きる」 安藤 美紀氏(特定非営利活動法人 MAMIE(マミー) 理事長)
休憩	14:45(10分)	
パネルディスカッション	14:55(50分)	○パネリスト:上記講演者3名 ○コーディネーター:鈴木 千春氏(障害者の自立と完全参加を目指す 大阪連絡会議 運営委員) 六條 友聡氏(社会福祉法人ぽぽんがぽん) ○コメンテーター:石塚 裕子氏(大阪大学大学院人間科学研究科 附属未来共創センター 講師)

「第15回バリアフリー推進勉強会in関西」 登壇者紹介

■講演者(パネリスト)

○渡部 安世氏(特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長)



中学生ごろから聞こえにくさを感じ、徐々に失聴。
電車のバリアフリーの取り組みから、移動等円滑化評価会議(近畿分科会)の委員を務める。

○志方 龍氏(宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長)



手話言語者(ろう者)であり、プログラマー・IT専門家。
会社員としてIT企業に勤める傍ら、宝塚市身体障害者福祉団体連合会会長として障害者啓発や手話普及、防災・IT支援などの活動を続けている。
大学生の時に手話言語と出会い、社会人になってからバリアフリー推進等の社会的課題に取り組むようになる。聴覚障害だけでなく、身体障害全般や知的障害・精神障害などの活動にも関わり、幅広い視点を持つようにしている。

○安藤 美紀氏(特定非営利活動法人 MAMIE(マミー) 理事長)



1969年鹿児島県生まれ。生まれつき全く聞こえない聴覚障害。東京純心女子大卒業。NPO 法人 MAMIE 理事長、日本聴導犬パートナー協会 理事長、公益社団法人日本聴導犬推進協会 理事、ユニバーサルデザイン演劇のみきまる座 座長。
聴導犬は二代目のアーミ。

■コメンテーター

○石塚 裕子氏(大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター 講師)



大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。技術士(都市および地方計画)。専門は、まちづくり、バリアフリー計画学。

■コーディネーター

○鈴木 千春氏(障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 運営委員)

障害当事者(頸髄損傷/車いす利用)
移動等円滑化評価会議 近畿分科会委員

○六條 友聡氏(社会福祉法人 ぽぽんがぽん)

障害当事者(先天性ミオパチによる四肢機能障害/電動車いす利用)
移動等円滑化評価会議 近畿分科会委員